

環境報告書 2021

Environmental Report 2021





RI 施設排水設備



排気設備

■放射性物質が一般環境に放出されないよう、センター内管理区域から出る排水や排気についても必ず放射性物質量を測定し、法定濃度以下であることを確認してから排出しています。

■排水設備排水処理制御盤シーケンサユニットを更新（2021年3月）

排水中の放射性物質量モニターはコンピュータで動作制御されています。安定な制御の継続のため、このコンピュータによる制御の中核を担うシーケンサユニットを2021年3月に更新しました。

化学物質の使用量・移動量及び低減対策

本学では、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）や都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）に対応するため、1年度間の化学物質使用量を調査しています。現状では使用量が1000kgを超過すPRTR法規定物質はありません。また、化学物質の条例（東京都環境確保条例）に対応するため、学内における化学物質の安全な管理を実現するため、化学物質使用量と廃棄量・廃棄方法を把握するための薬品管理システム（IASO）の全学的運用を行っています。当支援システムはすでにPRTR法、毒劇物取締法、労働安全衛生法などに対応していますが、本学ではさらに「都条例」の情報も追加し、化学物質使用量、移動量等の確実・即時的な把握と、それに連動して排出量の削減に努めています。

品川キャンパス		
物質名	使用量 (kg)	前年度比
クロロホルム	410	14.6%減
ヘキサン	690	11.4%減
メタノール	930	17.7%増
アセトン	160	38.5%減
酢酸エチル	110	15.4%減

※本学において使用された化学物質の中で、条例による規制（100kg超）を受けた物質を記載しております。

※越中島キャンパスにおいて2020年度100kgを超える化学物質の使用はございませんでした。

報告にあたっての基本要件

「国立大学法人東京海洋大学 環境報告書 2021」は以下により作成しております。

■環境報告の対象

対象組織：東京海洋大学

対象期間：2020年4月～2021年4月

発行期日：2021年9月

連絡先：東京海洋大学財務部施設課

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

TEL：03-5463-0385 FAX：03-5463-0386

作成：施設・環境委員会